

福島県立いわき支援学校

ふれあい新聞

第2号 平成30年2月26日発行

住所 いわき市平上神谷石ノ町13-1
電話 0246-34-3806
FAX 0246-34-5183
ホームページ <https://iwaki-sh.fcs.ed.jp>

(ほぼ毎日更新中!)

「共に学ぶ」

教務部 交流係 渡邊 美穂

本年度も様々な学校や地域の方々との交流が行われ、本校の児童生徒にとって大変貴重な経験となりました。この場をお借りして、交流活動へのご理解ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。お互いに協力して製品作りを行ったり、スポーツなどのレクリエーションを通して一緒に助け合ったり喜びを分かち合ったりしながら様々な年代の方々との交流できたことは、本校の児童生徒にとって、これからの学習や生活の大きな力となりました。今後とも、なお一層のご理解とご支援をお願いいたします。

風と雲のまつり

風と雲のまつり実行委員長 吉田 圭介

10月28日(土)に、「風と雲のまつり」が行われました。今年度は『空へはばたこう 風雲2017』というテーマに向かって、学校全体で準備を進めてきました。当日は、大勢の方が来校し、子ども達の学習の様子を見ていただくことができました。これまで積み重ねてきた、ステージ発表の練習や作業学習公開・販売準備の成果を、大勢の方に見ていただき、児童生徒はもちろんのこと、たくさんの方々の笑顔があふれる風と雲のまつりになりました。保護者の皆様やボランティアの皆様には、ステージ発表やPTAバザーなど様々な場面でご協力いただき、ありがとうございました。



全校生による共同作品
「ステンドグラスアート」

第5回特別支援学校作業技能大会の報告

高等部 高倉 雅尚

8月9日(水)に郡山市のビッグパレット福島にて特別支援学校作業技能大会が行われました。検定部門には作業学習の総合ワーク班や夏休み中の練習で身につけた技能、技術を発揮することができました。品評部門は作業学習で制作した製品を作業班代表の生徒が大勢の聴衆の中でプレゼンを行い製品の良さをみんなにアピールすることができました。

- 検定部門 喫茶接客サービス部門 (5名参加) 認定級 第2級
- パソコンデータ入力部門 (8名参加) 認定級 第1級
- ビルクリーニング部門 (5名参加) 認定級 第1級 (ダスタークロス)
- 作業製品品評部門 (出品製品)
- 革工製品部門 (レザークラフト班) バレッタ (最優秀品質賞) ID ケース (金賞)
- 窯業製品部門 (窯業班) 小鉢 (銅賞) 大鉢
- 手工芸製品 (手工芸班) のれん
- 木工製品 (木工班) リモコンラック



平第六小学校との交流学习

小学部 菊地 亜耶



小学部2年生は、平第六小学校の2年生と一緒に2回の交流学习を行いました。11月14日に行った「おみこし作り」では、丸めたお花紙を友達と協力して貼って魚や野菜の絵を作り、おみこしの図柄を完成させることができました。11月21日に行われた「おもちゃフェスティバル」では、みんなで作ったおみこしを担いだり、手作りのおもちゃで遊んだりしました。遊び方が分からないときには教えてもらったり友達と一緒に遊んだり、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、一緒に交流学习をする日が楽しみです。

中学部食育学習

中学部 遊佐 千尋



中学部2学年では、年間を通して「食育」の学習に取り組んできました。12月13日(水)に、レストランKitaoのシェフ北尾さんたちボランティアの方々と一緒にクリスマスケーキを作りました。生クリームを泡立てたり、スポンジケーキを切って生クリームを塗ったりするなど、なかなか経験することのできない活動に生徒たちは興味をもって取り組みました。友達やボランティアの方々と力を合わせて作ったケーキは特においしかったようです。みんなで楽しく会食することができました。地域の方々と交流し、素晴らしい体験をすることができました。

高等部交流学习

高等部 渡邊 美穂



今年度も、高等部1学年が平支援学校との交流会を実施しました。事前学習では、ビデオレターを作成したり、平支援学校から届いたビデオレターを鑑賞したりしました。当日は、グループに分かれて「みんなで運ぼうバルーンリレー」や「ドキドキポッチャゲーム」を行いました。限られた時間ではありましたが、同じチームの仲間の名前を覚えて声援を送ったり、時にはアドバイスをしたりしながら、お互いの様子を良く見てチーム一丸となり最後まで楽しくゲームを行うことができました。

平成29年度卒業式のお知らせ

- 高等部卒業式 3月6日(火)
- 小・中学部卒業式 3月15日(木)

今年度は小学部11名、中学部22名、高等部29名(くぼた校5名含)が卒業する予定です。

編集後記

今年度も地域の皆様をはじめとし、交流校の皆様には大変お世話になりました。

さて、「ふれあい新聞」第2号はいかがでしたでしょうか。これからも、本校の学習活動の様子や児童生徒の活躍の様子などをお伝えしていきたいと思います。来年度もどうぞよろしく願いいたします。